

# 令和4年第3回足立区議会定例会提出案件（追加）

令和4年10月18日現在

議案 番号	整理 番号	案 件 名	備 考
	1	令和4年度足立区一般会計補正予算(第6号)	
	2	花畑川環境整備その1工事請負契約の変更に ついて	当初契約金額 501,050,000円 1回目変更後契約金額 505,582,000円 2回目変更後契約金額 621,277,800円 今回変更後契約金額 994,084,300円
	報告 1	専決処分した事件の報告及び承認について	指定管理業務不履行及び積立金の取 扱いに係る調停の申立て  1件

## 令和4年度 各会計別補正予算(案)概要

令和4年10月

区 分	令和4年度予算額			前年度 予算額 B	比較増減	
	既定予算額	補正予算額	計 A		C=A-B	C/B×100
一 般 会 計 ( 第 6 号 補 正 )	千円 330,888,088	千円 6,648,149	千円 337,536,237	千円 360,010,744	千円 △22,474,507	% △6.2
国民健康保険特別会計	72,334,271	0	72,334,271	71,969,257	365,014	0.5
介護保険特別会計	69,201,749	0	69,201,749	64,630,807	4,570,942	7.1
後期高齢者医療特別会計	17,283,568	0	17,283,568	15,908,975	1,374,593	8.6
合 計	489,707,676	6,648,149	496,355,825	512,519,783	△16,163,958	△3.2

\*前年度予算額は、各会計とも令和3年度の最終予算額である。

令和4年度 一般会計補正予算(第6号)総括表

(1)歳入予算款別表

科 目(款)	既定予算額	補正予算額	計		前年度予算額		比較増減	
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比
	千円	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 特別区税	51,542,402	0	51,542,402	15.3	50,784,068	14.1	758,334	1.5
2 地方譲与税	965,701	0	965,701	0.3	1,027,001	0.3	△61,300	△6.0
3 利子割交付金	108,000	0	108,000	0.0	127,000	0.0	△19,000	△15.0
4 配当割交付金	592,000	0	592,000	0.2	682,000	0.2	△90,000	△13.2
5 株式等譲渡所得割交付金	691,000	0	691,000	0.2	768,000	0.2	△77,000	△10.0
6 地方消費税交付金	15,300,000	0	15,300,000	4.5	16,100,000	4.5	△800,000	△5.0
7 自動車取得税交付金	1	0	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 環境性能割交付金	238,000	0	238,000	0.1	207,520	0.1	30,480	14.7
9 ゴルフ場利用税交付金	1,648	0	1,648	0.0	1,884	0.0	△236	△12.5
10 地方特例交付金	572,000	0	572,000	0.2	716,154	0.2	△144,154	△20.1
11 交通安全対策特別交付金	72,000	0	72,000	0.0	79,000	0.0	△7,000	△8.9
12 特別区交付金	102,168,470	0	102,168,470	30.3	102,006,098	28.3	162,372	0.2
13 分担金及び負担金	2,308,919	0	2,308,919	0.7	2,427,937	0.7	△119,018	△4.9
14 使用料及び手数料	4,153,682	0	4,153,682	1.2	4,217,431	1.2	△63,749	△1.5
15 国庫支出金	81,188,713	5,801,885	86,990,598	25.8	105,303,292	29.3	△18,312,694	△17.4
16 都支出金	26,948,772	212,500	27,161,272	8.0	26,866,360	7.5	294,912	1.1
17 財産収入	428,136	0	428,136	0.1	930,599	0.3	△502,463	△54.0
18 寄付金	22,809	0	22,809	0.0	180,633	0.1	△157,824	△87.4
19 繰入金	34,693,758	633,764	35,327,522	10.5	36,072,296	10.0	△744,774	△2.1
20 繰越金	5,328,062	0	5,328,062	1.6	4,231,493	1.2	1,096,569	25.9
21 諸収入	3,560,015	0	3,560,015	1.1	3,465,977	1.0	94,038	2.7
22 特別区債	4,000	0	4,000	0.0	3,816,000	1.1	△3,812,000	△99.9
歳 入 合 計	330,888,088	6,648,149	337,536,237	100.0	360,010,744	100.0	△22,474,507	△6.2

\*前年度予算額は、令和3年度の最終予算額である。

\*構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

## (2)歳出予算款別表

科 目 (款)	既定予算額	補正予算額	計		前年度予算額		比較増減	
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比
	千円	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	933,761	0	933,761	0.3	925,148	0.3	8,613	0.9
2 総務費	37,579,183	0	37,579,183	11.1	43,379,073	12.0	△5,799,890	△13.4
3 民生費	158,329,707	5,650,164	163,979,871	48.6	168,599,180	46.8	△4,619,309	△2.7
4 産業経済費	5,082,302	213,982	5,296,284	1.6	3,368,281	0.9	1,928,003	57.2
5 環境衛生費	32,513,266	784,003	33,297,269	9.9	31,639,003	8.8	1,658,266	5.2
6 土木費	29,111,810	0	29,111,810	8.6	24,888,227	6.9	4,223,583	17.0
7 教育費	37,773,985	0	37,773,985	11.2	58,323,365	16.2	△20,549,380	△35.2
8 公債費	3,443,772	0	3,443,772	1.0	5,747,017	1.6	△2,303,245	△40.1
9 諸支出金	25,720,302	0	25,720,302	7.6	22,541,450	6.3	3,178,852	14.1
10 予備費	400,000	0	400,000	0.1	600,000	0.2	△200,000	△33.3
歳 出 合 計	330,888,088	6,648,149	337,536,237	100.0	360,010,744	100.0	△22,474,507	△6.2

\*前年度予算額は、令和3年度の最終予算額である。

\*構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

令和4年度 一般会計補正予算(第6号)性質別経費

区 分	令和4年度予算額					前年度予算額		比較増減	
	既定予算額		補正予算額	計		金額	構成比	金額	前年度比
	金額	構成比	金額	金額A	構成比	B		C=A-B	
	千円	%	千円	千円	%	千円	%	千円	%
人件費	40,425,133	12.2	11,100	40,436,233	12.0	39,861,443	11.1	574,790	1.4
扶助費	112,001,313	33.8	783,295	112,784,608	33.4	109,145,739	30.3	3,638,869	3.3
公債費	3,443,772	1.0	0	3,443,772	1.0	5,747,017	1.6	△2,303,245	△40.1
投資的経費	42,481,751	12.8	8,000	42,489,751	12.6	48,890,194	13.6	△6,400,443	△13.1
その他一般行政経費	132,536,119	40.1	5,845,754	138,381,873	41.0	156,366,351	43.4	△17,984,478	△11.5
合 計	330,888,088	100.0	6,648,149	337,536,237	100.0	360,010,744	100.0	△22,474,507	△6.2

\*前年度予算額は、令和3年度の最終予算額である。

\*構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

## 令和4年度 一般会計補正予算(第6号)主要事業概要

款別	補正額 千円	事業名	金額 千円	計上概要
民生費	5,650,164	1 生活困窮者自立支援金の支給事務【経常】	12,364	<p>国による生活困窮者自立支援金の申請期限延長に伴う事務費の増</p> <p>1 申請期限延長 申請期限の3か月延長(令和4年9月30日→令和4年12月31日まで) →申請期限延長に伴う支給延べ回数:1,000回増(3,500回見込→4,500回見込) ※現在のところ申請期限延長は令和4年12月31日までだが、今後令和5年3月31日まで延長された場合を想定し補正計上する。</p> <p>2 補正予算額 (1)人材派遣(申請書類作成サポート窓口・審査事務補助等に従事) 7,800千円 11月～1月:4人、2月～3月:3人 予算現額5,234千円→変更後の見込額13,034千円 (2)申請書等印刷・封入封緘・書類一次審査等包括的委託 4,564千円 予算現額41,762千円→変更後の見込額46,326千円 【特定財源】国庫補助金(補助率10/10)</p>
		2 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給事務	5,202,050	<p>令和4年度非課税世帯等への国による「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」(5万円)の支給にかかる経費</p> <p>1 対象者 (1)令和4年度住民税非課税世帯 :97,500世帯 (2)(1)と同様の事情にあると認められる家計急変世帯 :1,500世帯</p> <p>2 補正予算額 5,202,050千円 (1)給付費 4,950,000千円 一世帯あたり50千円×支給見込世帯数99,000世帯 (2)事務費 252,050千円 ア コールセンター・封入封緘等包括委託 130,000千円 令和4年11月1日～2月28日 平日9:00～20:00 フリーダイヤル 11月上旬から12月上旬 最大30回線、12月中旬から1月下旬 最大10回線 2月上旬から2月下旬 最大5回線 イ 人材派遣(申請書の受付・審査・入力・データ処理・相談窓口に従事) 60,000千円 11月中旬から1月中旬 最大50人、1月中旬から1月下旬 最大18人 2月上旬から3月上旬 最大10人 ウ 申請書・決定通知書郵送費等 31,794千円 エ 口座振替手数料 4,500千円 オ 複写機・パーテーション等賃借、端末機器賃借・設置・設定 8,600千円 カ チラシ・封筒作成等事務用消耗品等 6,056千円 キ 職員時間外勤務手当(20人分) 11,100千円 【特定財源】国庫補助金(補助率10/10)</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
	千円		千円	
(民生費)		(住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給事務)		<p>3 スケジュール(予定)</p> <p>(1) 令和4年1月1日時点で足立区民 通知書発送:11月中旬 初回着金:11月下旬</p> <p>(2) 令和4年1月2日以降に足立区転入者 通知書発送:11月下旬 初回着金:12月上旬</p> <p>※申請期限は令和5年1月31日</p>
		低所得のひとり親世帯等に対する足立区独自の家計応援臨時給付金の支給事業【経常】【投資】	435,750	<p>食費等の物価高騰に直面する低所得のひとり親世帯等に対し、「低所得のひとり親世帯等に対する足立区独自の家計応援臨時給付金」を給付するための経費</p> <p>1 対象者 国による「令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金※」の支給決定を受けたひとり親世帯等の児童:8,500人(5,600世帯) 【申請不要】 ※児童扶養手当受給者及び収入が児童扶養手当受給者と同水準の者などが対象 同水準とは【母・対象児童2人の家計急変世帯の場合】 国が定める収入限度額4,125千円 &gt; 年間収入見込額(収入減少月×12か月)の場合に給付金支給 課税・非課税は問わない</p> <p>2 補正予算額 435,750千円 (1) 給付金 425,000千円 児童1人あたり50千円×対象児童数8,500人 (2) 事務費 2,750千円 ア 封入封緘委託 1,472千円 イ 郵送料・口座振替手数料 1,278千円 (3) システム改修費 8,000千円</p> <p>【特定財源】都補助金(補助率1/2) ※残りの経費は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用予定</p> <p>3 スケジュール(予定) 令和4年11月上旬・・・個人情報保護審議会 令和4年11月中旬・・・委託業務契約(入札) 令和4年12月下旬・・・給付金支給通知発送 令和5年 1月中旬・・・給付金支給</p>

款 別	補正額 千円	事 業 名	金 額 千円	計 上 概 要
産業経済費	213,982	1 ものづくり支援事業	213,982	<p>エネルギー価格高騰の直撃を受ける運輸業者に対して、経費負担軽減策として事業用車両台数に応じた、区独自の支援金を交付するための経費</p> <p>1 支援金の内容  (1) 対象事業者  トラック運送事業者、軽貨物運送事業者、タクシー事業者、介護タクシー事業者、貸切バス事業者、乗合バス事業者  (2) 事業用車両一台あたりの交付額  ア トラック運送事業者 : 貨物車23千円  イ 軽貨物運送事業者 : 軽貨物車8千円  ウ タクシー事業者、介護タクシー事業者 : 乗用車8千円  (国のLPガス補助対象車両は対象外)  エ 貸切バス事業者、乗合バス事業者 : バス35千円  ※支援金額は都に準ずる。タクシー事業者、介護タクシー事業者及び貸切バスについては区独自で追加。</p> <p>2 補正予算額 213,982千円  (1) 貨物車 : 158,562千円 (23千円×6,894台)  (2) 軽貨物車 : 23,872千円 (8千円×2,984台)  (3) タクシー : 48,048千円 (8千円×6,006台)  (4) バス : 36,995千円 (35千円×1,057台)  (1)～(4)の合計267,477千円×申請率80%=213,982千円</p> <p>【特定財源】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用予定</p>



款別	補正額	事業名	金額	計上概要
環境衛生費	千円 784,003	1 感染症予防・患者医療費公費負担事業	千円 784,003	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療費公費負担及び通知用封筒購入費の年間見込額に不足が生じるため補正予算計上</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症入院医療費 783,295千円  (1)7月審査分までの実績を踏まえ、以下のとおり当初の想定を変更  ※第7波を踏まえた想定  ア 年間見込件数:当初見込6,377件→現在の見込7,300件 差引923件  イ 無保険者割合:当初見込6%→現在の見込17.5% 差引11.5ポイント  (公費負担単価:健康保険加入者70千円、無保険者873千円)  (2)予算現額753,939千円→年間見込額1,537,234千円=予算不足額783,295千円  【特定財源】国庫負担金(負担率3/4)</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症関連の通知書送付に係る封筒購入経費 708千円  (1)7月までの封筒使用実績を踏まえ、以下のとおり当初の想定を変更  ※第7波を踏まえた想定  ア 4月～7月の使用枚数 20,000枚  イ 8月～3月の使用見込枚数 56,000枚(7,000枚/月×8か月)  年間使用見込枚数 76,000枚(760束)  (2)予算現額62千円→年間見込額770千円(単価1,012円×760束)=予算不足額708千円</p>
合計	6,648,149			

特定目的基金の積立状況

予算ベース

↓R3決算時(一般会計)

(単位:千円)

一般会計

項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	3年度末 現在高 <sup>a</sup>	4年度 当初積立	4年度 当初取崩	4年度 当初現在高	1号 取崩	2号 取崩	3号 取崩	剰余金 基金繰入	5号 積立	5号 取崩	6号 積立	6号 取崩	4年度末 現在高 <sup>b</sup>	年度末 現在高比較 <sup>b-a</sup>
1 財政調整基金	47,666,161	16,250	11,541,001	36,141,410	540,843	65,298	2,622,926	6,000,000				633,764	38,278,579	△ 9,387,582
2 減債基金	5,361,091	* 44,600	242,000	5,163,691									5,163,691	△ 197,400
3 公共施設建設資金積立基金	47,367,446	34,510	6,196,799	41,205,157						252,000			40,953,157	△ 6,414,289
4 地域福祉振興基金	5,180,416	16,396	1,078,528	4,118,284									4,118,284	△ 1,062,132
5 義務教育施設建設等資金積立基金	59,394,822	42,240	8,658,599	50,778,463									50,778,463	△ 8,616,359
6 育英資金積立基金	1,575,683	369,009	324,752	1,619,940						10,600			1,609,340	33,657
7 住宅等対策資金積立基金	1,417	10	0	1,427					△ 10	1,417			0	△ 1,417
8 一般区営住宅改修整備資金積立基金	2,143,205	151,770	476,693	1,818,282									1,818,282	△ 324,923
9 環境基金	364,626	400	30,000	335,026									335,026	△ 29,600
10 文化芸術振興基金	149,869	330	12,600	137,599									137,599	△ 12,270
11 竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画 事業資金積立基金	3,429,815	3,340	1,151,474	2,281,681									2,281,681	△ 1,148,134
12 緑の基金	1,224,289	3,750	24,455	1,203,584									1,203,584	△ 20,705
13 協働・協創パートナー基金	217,110	2,190	9,000	210,300									210,300	△ 6,810
14 子ども・子育て施設整備基金	697,228	72,017	45,082	724,163			11,750			14,335			698,078	850
15 大学病院施設等整備基金	499,680	1,720	500,000	1,400									1,400	△ 498,280
16 防災減災対策整備基金	5,234,877	4,620	410,000	4,829,497					1,818,854				6,648,351	1,413,474
17 あだち子どもの未来応援基金	224,597	201,080	20,510	405,167						256			404,911	180,314
合計	180,732,332	964,232	30,721,493	150,975,071	540,843	65,298	2,634,676	6,000,000	1,818,844	278,608	0	633,764	154,640,726	△ 26,091,606

\*減債基金積立額の内訳  
6%積立ルール分40,020  
利子分 4,580

介護保険特別会計

項目	3年度末 現在高 <sup>a</sup>	4年度 当初積立	4年度 当初取崩	4年度 当初現在高	1号 積立	1号 取崩	4年度末 現在高 <sup>b</sup>	年度末 現在高比較 <sup>b-a</sup>
18 介護保険給付準備基金	4,321,157	3,820	1,648,000	2,676,977			632,061	△ 1,012,119

※満期一括償還方式地方債年6%減債基金積立ルールについて

満期一括償還方式の地方債を発行した場合、満期日に元金全額を償還することになり、満期償還年度の財政負担が増大する。そのため、満期一括償還方式市場公募債の償還方法については、元金償還財源の確保及び世代間負担の公平を図る観点から、発行後4年目から毎年度元金の6%相当額を減債基金に積み立てていくこととしている(平成4年1月20日自治省財政局地方債課長通知)。このルールに準拠して足立区では満期一括償還方式地方債について発行後4年目から元金の6%分を減債基金へ積み立てている。これにより、地方債発行後20年で元金全額分を積み立てることになる。

※表示金額は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

議員提出第8号議案

北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和4年 月 日

提出者

足立区議会議員	新井	ひでお
同	くぼた	美幸
同	長澤	こうすけ
同	ぬかが	和子
同	鈴木	あきら
同	長井	まさのり
同	岡安	たかし
同	長谷川	たかこ
同	鹿浜	昭
同	佐々木	まさひこ
同	はたの	昭彦
同	くじらい	実

足立区議会議長 工藤哲也 様

(提案理由)

北朝鮮のミサイル発射に対し厳重に抗議するため、本案を提出する。

## 北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議（案）

北朝鮮は、本年に入ってから弾道ミサイルを繰り返し発射しており、特に10月4日に発射した弾道ミサイルは、青森県付近上空を通過する形で太平洋上に落下したと推定されている。

こうした度重なるミサイル発射は、我が国をはじめとする国際社会の平和と安全を脅かす重大な挑発行為であるばかりか、区民生活の安心と安全を脅かす行為であり、平和と安全の都市宣言を行っている足立区として断じて容認できるものではない。

よって、足立区議会は、北朝鮮のミサイル発射に対し厳重に抗議するとともに、政府に対し、北朝鮮が断じてこのような行為を繰り返すことのないよう、国際社会と連携して国連安全保障理事会決議に基づく断固とした対応をとるよう強く求める。

以上、決議する。

令和 年 月 日

足立区議会

議員提出第9号議案

女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和4年 月 日

提出者

足立区議会議員	くぼた	美幸
同	新井	ひでお
同	長澤	こうすけ
同	ぬかが	和子
同	鈴木	あきら
同	長井	まさのり
同	岡安	たかし
同	長谷川	たかこ
同	鹿浜	昭
同	佐々木	まさひこ
同	はたの	昭彦
同	くじらい	実

足立区議会議長 工藤哲也 様

(提案理由)

国会及び政府に対し、女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求めるため、本案を提出する。

## 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書（案）

政府は令和4年4月26日に「女性デジタル人材育成プラン」を取りまとめ、就労に直結するデジタルスキルの習得と、柔軟な働き方につながる就労環境整備の両面から支援し、女性デジタル人材育成の加速化を目指すこととした。

女性デジタル人材育成については、女性の経済的自立や重要産業であるデジタル業界への女性の円滑な労働移動支援、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消等を図る観点から極めて重要である。

本プランの着実な遂行と実現は、我が国の国際競争力を高め、生産性を向上させるうえで不可欠であり、大きな期待が寄せられている。

よって、足立区議会は、国会及び政府に対し、女性デジタル人材育成の強力な推進を図るため、下記の事項を実施するよう強く求めるものである。

### 記

- 1 時間的な制約がある場合においても、テレワークを活用した就労や実践的な経験を積むことができる研修等の環境整備を支援すること。
- 2 テレワークの定着・促進に向けた導入支援体制を早急に整備すること。
- 3 自治体規模に合わせた取組みやすい本プランの参考事例を積極的に発信すること。
- 4 本プランの着実な遂行のために十分な予算を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和 年 月 日

議 長 名

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣

あ て

経済産業大臣

デジタル大臣

内閣府特命担当大臣（少子化対策 男女共同参画）

デジタル田園都市国家構想担当大臣

- |     |         |  |
|-----|---------|--|
| 第1  | 第60号議案  | 令和3年度足立区一般会計歳入歳出決算   |
| 第2  | 第61号議案  | 令和3年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算   |
| 第3  | 第62号議案  | 令和3年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算   |
| 第4  | 第63号議案  | 令和3年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  |
| 第5  | 第68号議案  | 足立区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例  |
| 第6  | 第69号議案  | 足立区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例  |
| 第7  | 第70号議案  | 足立区職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例  |
| 第8  | 第71号議案  | 足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  |
| 第9  | 第72号議案  | 公益的法人等への足立区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例  |
| 第10 | 第73号議案  | 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例                                      |
| 第11 | 第75号議案  | 足立区非常勤職員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例   |
| 第12 | 第76号議案  | 足立区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例   |
| 第13 | 第77号議案  | 足立区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例   |
| 第14 | 第83号議案  | 足立区勤労福祉会館条例の一部を改正する条例  |
| 第15 | 第84号議案  | 足立区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例  |
| 第16 | 第85号議案  | 債権の放棄について  |
| 第17 | 第86号議案  | 足立区北綾瀬駅周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例  |
| 第18 | 第88号議案  | 足立区営住宅条例の一部を改正する条例   |
| 第19 | 第89号議案  | 足立区に係る沿道地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例                                     |
| 第20 | 第90号議案  | 足立区立学校設置条例の一部を改正する条例   |
| 第21 | 第91号議案  | 積立金等返還請求調停に関する和解について   |
| 第22 | 第102号議案 | 令和4年度足立区一般会計補正予算(第6号)  |
| 第23 | 第103号議案 | 花畑川環境整備その1工事請負契約の変更について  |
| 第24 | 報告第23号  | 専決処分した事件の報告及び承認について  |
| 第25 | 元受理番号25 | 原子力発電所の被災、事故に対応する「地域防災計画」の早急な具体化を求める陳情   |
|     | 3受理番号14 | 放射能汚染から子どもの健康を守るための陳情  |
|     | 3受理番号22 | 海を守り漁業関連事業者、従事者の生業と水産物を守る意見書を国に提出することを求める陳情                                    |
| 第26 | 元受理番号3  | 命を守る熱中症対策の強化を求める陳情   |
|     | 元受理番号6  | 不登校の子ども達や発達障がい特性のある子ども達とその保護者に対する適切な支援等の創設を求める請願                               |
|     | 元受理番号7  | 子どもを産み育てやすい新たな制度を求める請願   |
|     | 元受理番号8  | 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出を求める請願  |
|     | 元受理番号12 | 全てのがん検診無料化及び女性のがん検診毎年実施を求める陳情  |
|     | 元受理番号15 | 医療的ケア児や重症心身障害児とその家族に対する日常生活支援サービスの向上を求める陳情                                     |
|     | 元受理番号21 | 健常児と障がい児が関わる時間を増やすインクルーシブ教育の拡大と医療的ケア児や重症心身障害児を受け入れる保育制度を求める陳情                  |
|     | 元受理番号24 | 医療的ケア児や重症心身障害児の災害対策に関する陳情  |
|     | 元受理番号26 | 綾瀬地区を文化的に環境整備することを求める陳情  |
|     | 元受理番号27 | 西新井駅及び周辺の改善を求める陳情  |
|     | 2受理番号2  | ケアプランの有料化は行わないことを国に求める意見書の提出を求める陳情   |
|     | 2受理番号4  | 3歳児健診でカメラ型のオートレフラクトメーターを用いた検査や視能訓練士・眼科医が視力を測る体制と各保健センターにおける相談窓口を早急に構築するよう求める請願 |
|     | 2受理番号5  | 足立区立小・中学校全ての給食調理場に空調設備の設置を求める請願  |
|     | 2受理番号6  | 足立区立小・中学校全校の給食調理室に空調設備の設置を求める請願  |



- 2 受理番号 8 新型コロナウイルスの収束まで区立施設の使用料の半減を求める請願
- 2 受理番号 1 4 地方消費者行政拡充に向け、国に予算強化等を求める意見書の提出を求める陳情
- 2 受理番号 1 5 保健所の機能強化に向け、国に予算強化等を求める意見書の提出を求める陳情
- 2 受理番号 2 0 すべての人が個人として尊重される社会の実現に向けた、男女共同参画・ダイバーシティ教育の推進を求める陳情
- 2 受理番号 2 2 異性・同性パートナーシップ制度の制定に向けた取組の推進等に関する陳情
- 2 受理番号 2 3 事実婚を含むパートナーシップ宣誓制度の導入等を求める陳情
- 2 受理番号 2 5 足立区差別禁止条例の制定を求める陳情
- 2 受理番号 2 6 区立中学の制服（標準服）のスラックス・スカートの選択制の導入及び区立学校で男女混合名簿を用いることを求める陳情
- 3 受理番号 3 安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書を国に提出することを求める請願
- 3 受理番号 5 花畑二丁目住宅地にある生コン工場の早期移転を求める陳情
- 3 受理番号 7 花畑川の歴史と桜とSDGsな川づくりのための検討委員会設置を求める陳情
- 3 受理番号 8 性犯罪をなくすための区立学校での性教育の充実を求める陳情
- 3 受理番号 1 0 原爆暦77年7月以降に住民票等発行手数料を一部免除することに関する陳情
- 3 受理番号 1 2 介護保険料負担を減らす「介護保険料負担軽減給付金」制度の創設と介護従事者の待遇改善を求める陳情
- 3 受理番号 1 3 厚生労働省へ保健所の感染症に対する機能強化の意見書を提出することを求める陳情
- 3 受理番号 1 8 足立区の小学校図書館の活動を更に充実させるために、小学校の図書館に直接雇用の図書館司書（支援員）の配置を計画的にすすめることを求める陳情
- 受理番号 2 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書を国に提出することを求める陳情
- 受理番号 3 女性トイレの維持及びその安心安全の確保について求める意見書を国に提出することを求める陳情
- 受理番号 4 子どもの豊かな育ちを支えるため感染対策の見直しを求める請願
- 受理番号 5 教育現場への感染症対策緩和についての請願
- 受理番号 6 スクールアシスタント（旧介助員）制度の充実を求める請願
- 受理番号 7 建設アスベスト被害の全面解決へ、アスベスト建材製造企業の基金拠出等、「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書の提出を求める陳情
- 受理番号 8 受動喫煙防止を求める陳情
- 受理番号 9 介護保険制度の改善を求める意見書を国に提出することを求める陳情
- 受理番号 1 0 公立小中学校の給食費無償化を求める陳情
- 受理番号 1 1 中途養育者に関わる支援を求める請願
- 受理番号 1 2 親のニーズに対応した待機児対策を強め、子どもたちのために質の高い保育を保障し、公立保育園31園を廃止しないことを求める陳情
- 第27 受理番号 1 3 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願
- 受理番号 1 4 希望する自治体が職員の定年を65歳から70歳まで引き上げることができる制度を導入するよう国に意見書の提出を求める陳情
- 受理番号 1 5 障害者総合支援法に基づく精神障がい福祉サービスにおける認定調査員の平等性、公平性を確保するよう求める陳情
- 第28 議員提出第8号議案 北朝鮮のミサイル発射に抗議する決議
- 第29 議員提出第9号議案 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

令和4年10月19日

足立区議会議長

工藤哲也

## 令和4年第3回足立区議会定例会 文書質問提出者等一覧表

提出日	会派名	提出者名	質問内容
10月13日	日本共産党	ぬかが 和子	① 女性・多様性支援について ② 西新井駅周辺のまちづくりについて
10月14日	日本共産党	山中 ちえ子	① 新型コロナワクチンについて ② 暴力、家族の在り方への介入から区民を守り、一人ひとりが人生をどう生きるのか自由に選択できる区政の実現について

※文書質問書提出期間

9月26日(月)～10月14日(金)

# 令和4年11月足立区議会会議日程 [閉会中委員会] (案)

足立区議会事務局

月	日	曜	午前	午後
11	7	月	議会運営委員会(第3委員会室) 10時 各派幹事長会・広報委員会(第3委員会室) 10時30分	
	8	火		
	9	水	総務委員会(特別委員会室) 10時	
	10	木	区民委員会(特別委員会室) 10時	産業環境委員会(第3委員会室) 1時30分
	11	金	厚生委員会(特別委員会室) 10時	
	12	土		
	13	日		
	14	月	建設委員会(特別委員会室) 10時	文教委員会(特別委員会室) 1時30分
	15	火	交通網・都市基盤整備調査特別委員会(第3委員会室) 10時	
	16	水	子ども・子育て支援対策調査特別委員会(特別委員会室) 10時	
	17	木	災害・オウム対策調査特別委員会(第3委員会室) 10時	エリアデザイン調査特別委員会(特別委員会室) 1時30分

※ 委員会室は変更する場合があります。

## ◎ 令和4年第4回足立区議会定例会日程 (案)

12月1日(木) ~ 12月21日(水) (21日間)